

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準（令和4年10月） 新旧対照表（令和5年3月1日以降積算基準日適用）

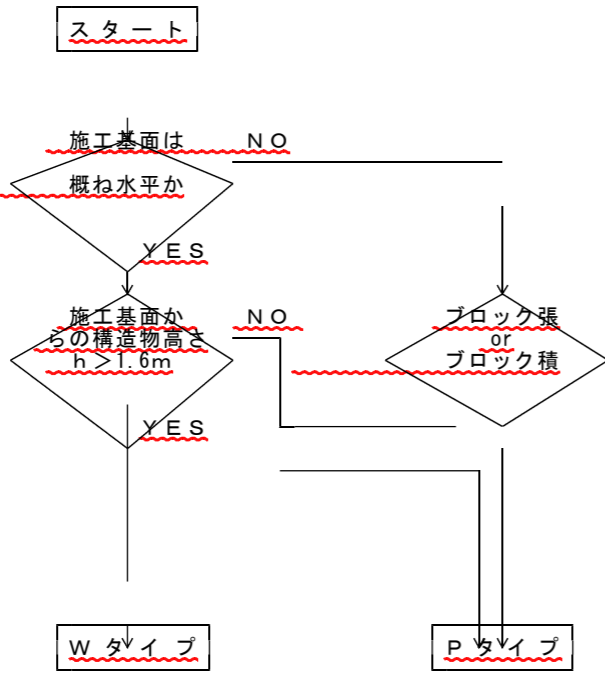
掲載頁	新	旧	摘要																																																									
<p>3-6-1</p> <p>6節 仮設工</p> <p>1 総則</p> <p>1-1 適用範囲 漁場関係構造物の仮設に係わる工事に適用する。</p> <p>1-2 積算ツリー</p> <div data-bbox="290 541 1160 1428"> <table border="1"> <tr> <th>工種(レベル2)</th> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> </tr> <tr> <td rowspan="10">仮設工</td> <td>仮設鋼矢板工</td> <td>仮設鋼矢板・H形鋼杭</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">仮設鋼管杭・鋼管矢板工</td> <td>先行掘削</td> </tr> <tr> <td>仮設鋼管杭・鋼管矢板</td> </tr> <tr> <td>仮設道路工</td> <td>仮設道路</td> </tr> <tr> <td>仮囲い工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮橋工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮棧橋工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全対策</td> <td>交通誘導員</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">雪寒施設工</td> <td>雪寒仮囲い(Pタイプ)</td> </tr> <tr> <td>雪寒仮囲い(Wタイプ)</td> </tr> <tr> <td>防寒養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">除雪工</td> <td>現場内除雪(機械)</td> </tr> <tr> <td>現場内除雪(人力)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い屋根部</td> </tr> </table> </div> <p>注) : 本節で取扱う施工歩掛 : 施工条件を勘案し別途積算する施工歩掛（未制定歩掛）</p> <p>1-4 数量計算等</p> <p>1-4-1 集計数値</p> <table border="1" data-bbox="290 1738 1457 1787"> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>内容</th> <th>単位</th> <th>数値</th> <th>摘要</th> </tr> </table>	工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)	仮設工	仮設鋼矢板工	仮設鋼矢板・H形鋼杭	仮設鋼管杭・鋼管矢板工	先行掘削	仮設鋼管杭・鋼管矢板	仮設道路工	仮設道路	仮囲い工		仮橋工		仮棧橋工		安全対策	交通誘導員	雪寒施設工	雪寒仮囲い(Pタイプ)	雪寒仮囲い(Wタイプ)	防寒養生	除雪工	現場内除雪(機械)	現場内除雪(人力)	仮囲い屋根部	種別(レベル3)	細別(レベル4)	内容	単位	数値	摘要	<p>7節 仮設工</p> <p>1 総則</p> <p>1-1 適用範囲 漁場関係構造物の仮設に係わる工事に適用する。</p> <p>1-2 積算ツリー</p> <div data-bbox="1501 541 2252 1150"> <table border="1"> <tr> <th>工種(レベル2)</th> <th>種別(レベル3)</th> <th>細目(レベル4)</th> </tr> <tr> <td rowspan="8">仮設工</td> <td>仮設鋼矢板工</td> <td>仮設鋼矢板・H形鋼杭</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">仮設鋼管杭・鋼管矢板工</td> <td>先行掘削</td> </tr> <tr> <td>仮設鋼管杭・鋼管矢板</td> </tr> <tr> <td>仮設道路工</td> <td>仮設道路</td> </tr> <tr> <td>仮囲い工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮橋工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮棧橋工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全対策</td> <td>交通誘導警備員</td> </tr> </table> </div> <p>注) : 本節で取扱う施工歩掛 : 施工条件を勘案し別途積算する施工歩掛（未制定歩掛）</p> <p>1-4 数量計算等</p> <p>1-4-1 集計数値</p> <table border="1" data-bbox="1501 1738 2644 1787"> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細目(レベル4)</th> <th>内容</th> <th>単位</th> <th>数値</th> <th>摘要</th> </tr> </table>	工種(レベル2)	種別(レベル3)	細目(レベル4)	仮設工	仮設鋼矢板工	仮設鋼矢板・H形鋼杭	仮設鋼管杭・鋼管矢板工	先行掘削	仮設鋼管杭・鋼管矢板	仮設道路工	仮設道路	仮囲い工		仮橋工		仮棧橋工		安全対策	交通誘導警備員	種別(レベル3)	細目(レベル4)	内容	単位	数値	摘要	<p>冬期施工を統合</p>
工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)																																																										
仮設工	仮設鋼矢板工	仮設鋼矢板・H形鋼杭																																																										
	仮設鋼管杭・鋼管矢板工	先行掘削																																																										
		仮設鋼管杭・鋼管矢板																																																										
	仮設道路工	仮設道路																																																										
	仮囲い工																																																											
	仮橋工																																																											
	仮棧橋工																																																											
	安全対策	交通誘導員																																																										
	雪寒施設工	雪寒仮囲い(Pタイプ)																																																										
		雪寒仮囲い(Wタイプ)																																																										
防寒養生																																																												
除雪工	現場内除雪(機械)																																																											
	現場内除雪(人力)																																																											
	仮囲い屋根部																																																											
種別(レベル3)	細別(レベル4)	内容	単位	数値	摘要																																																							
工種(レベル2)	種別(レベル3)	細目(レベル4)																																																										
仮設工	仮設鋼矢板工	仮設鋼矢板・H形鋼杭																																																										
	仮設鋼管杭・鋼管矢板工	先行掘削																																																										
		仮設鋼管杭・鋼管矢板																																																										
	仮設道路工	仮設道路																																																										
	仮囲い工																																																											
	仮橋工																																																											
	仮棧橋工																																																											
	安全対策	交通誘導警備員																																																										
種別(レベル3)	細目(レベル4)	内容	単位	数値	摘要																																																							
<p>3-6-2</p>																																																												

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準（令和4年10月） 新旧対照表（令和5年3月1日以降積算基準日適用）

掲載頁	新	旧	摘要												
3-6-2	<p>2 仮設鋼矢板工—仮設鋼矢板・H形鋼杭 仮設鋼矢板・H形鋼杭に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>積算要素 (レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素 (レベル6)				<p>2 仮設鋼矢板工 仮設鋼矢板工に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細目(レベル4)</th> <th>積算要素 (レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細目(レベル4)	積算要素 (レベル6)				<p>語句の修正</p>
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素 (レベル6)													
種別(レベル3)	細目(レベル4)	積算要素 (レベル6)													
3-6-3	<p>2-1 適用範囲</p> <p>2-2 施工フロー</p>	<p>2-1 仮設鋼矢板・H形鋼杭 2-1-1 適用範囲</p> <p>2-1-2 施工フロー</p>	<p>構成の修正に伴う 項目番号の修正</p>												
3-6-4	<p>2-3 鋼矢板等準備</p> <p>2-3-1 代価表作成手順 [購入材料の積算]</p> <p style="text-align: center;">2-1-3-2</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・ベース価格 ・エキストラ（規格、寸法、形状、加工、重防食等） ・付属品価格および取付費（吊金具、標尺費、その他） </div> <div style="text-align: center;"> ↓ 鋼矢板・H形鋼杭 材料単価の算定 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> →①組立製作クレーンの機種・規格 </div> </div>	<p>2-1-3 鋼矢板等準備</p> <p>2-1-3-1 代価表作成手順 [購入材料の積算]</p> <p style="text-align: center;">2-1-3-2</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・ベース価格 ・エキストラ（規格、寸法、形状、加工、重防食等） ・付属品価格および取付費（吊金具、標尺費、その他） </div> <div style="text-align: center;"> ↓ 鋼矢板・H形鋼杭 材料単価の算定 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> →①組立製作クレーンの機種・規格 </div> </div>													
3-6-5	<p>2-3-2 施工歩掛</p> <p>2-4 鋼矢板等運搬 鋼矢板運搬の施工歩掛は、「漁港漁場関係工事積算基準 第1部 漁港漁場関係事業請負工事費積算基準 第3章18節 仮設工 2. 仮設鋼矢板工 2-1 仮設鋼矢板・H型鋼杭 2-1-4 鋼矢板等運搬」を適用する。</p> <p>2-5 鋼矢板等・打設引抜 鋼矢板等・打設引抜の施工歩掛は、「漁港漁場関係工事積算基準 第1部 漁港漁場関係事業請負工事費積算基準 第3章18節 仮設工 2. 仮設鋼矢板工 2-1 仮設鋼矢板・H型鋼杭 2-1-5 鋼矢板等・打設引抜」を適用する。</p>	<p>2-1-3-2 施工歩掛</p> <p>2-1-4 鋼矢板等運搬 鋼矢板運搬の施工歩掛は、「第1部 漁港漁場関係事業請負工事費積算基準 第5章4節本土工 4.5 鋼矢板式 2-1-3-2 鋼矢板運搬」を適用する。また、H形鋼杭運搬の施工歩掛は、「第1部 漁港漁場関係事業請負工事費積算基準 第5章4節本土工 4.6 鋼杭式 2-3-2 鋼杭運搬」を適用する。</p>	<p>項目の追加</p>												
3-6-6	<p>3 安全対策—交通誘導警備員 交通誘導警備員に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>積算要素</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全対策</td> <td>交通誘導警備員</td> <td>交通誘導整理 1式当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-1 適用範囲 一般交通誘導を伴う交通誘導警備員及び機械の誘導員等の交通管理を行う場合に適用する。</p> <p>3-2 交通誘導整理</p> <p>3-2-1 代価表作成手順</p> <p>3-2-2 施工歩掛</p>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素	安全対策	交通誘導警備員	交通誘導整理 1式当り	<p>3 安全対策</p> <p>3-1 交通誘導警備員 安全対策に含まれる代価表は、下表のとおりである。 なお、一般交通誘導を伴う交通誘導警備員及び機械の誘導員等の交通管理を行う場合に適用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細目(レベル4)</th> <th>代価表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全対策</td> <td>交通誘導警備員</td> <td>交通誘導整理 1式当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-1-1 代価表作成手順</p> <p>3-1-2 施工歩掛</p>	種別(レベル3)	細目(レベル4)	代価表	安全対策	交通誘導警備員	交通誘導整理 1式当り	<p>構成の修正に伴う 修正</p> <p>構成の修正に伴う 項目の追加</p> <p>構成の修正に伴う 項目番号の修正</p>
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素													
安全対策	交通誘導警備員	交通誘導整理 1式当り													
種別(レベル3)	細目(レベル4)	代価表													
安全対策	交通誘導警備員	交通誘導整理 1式当り													

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準（令和4年10月） 新旧対照表（令和5年3月1日以降積算基準日適用）

掲載頁	新	旧	摘要		
3 - 6 - 7	<p>4 雪寒施設工 4-1 適用範囲</p> <table border="1" data-bbox="335 401 1433 541"> <tr> <td data-bbox="335 401 507 541"> <p>コンクリート 防 寒 費</p> </td> <td data-bbox="513 401 1433 541"> <ul style="list-style-type: none"> ・4月1日入札から対象となる。 ・コンクリート打設時の防寒囲い、防寒養生を対象とする。 ・地域ごとに気温が異なるため工期、気象データ等により必要に応じ計上する。 ・積算は下記「4-2 コンクリート防寒費の積算について」による。 </td> </tr> </table> <p>4-2 コンクリート防寒費の積算について コンクリート工事における防寒費については次により処理すること。</p> <p>(1) 防寒費の対象となる工事 防寒費の対象となる工事は、コンクリート養生の工程が日平均気温4℃を下回る構造物を有する工事とする。</p> <p>(2) 防寒費の計上 防寒費の計上は、日平均気温が4℃を下回る日を定めた、「付属資料-2 1. 防寒開始日早見表」により防寒開始日以降について積算すること。</p> <p>(3) 防寒費の設計変更</p> <p>a 「付属資料-2 1. 防寒開始日早見表」から選定された防寒開始日から日平均気温が4℃を下回る日が前後10日以上乖離した場合は、実際の防寒養生、防寒囲いを開始した日に合わせて設計変更をすること。</p> <p>b 防寒費の計上が必要な構造物については、請負業者から提出された工程表（ネットワーク等）で工事着手前に養生の工程を確認して、防寒養生、防寒囲いの施工の有無について協議を行い、必要に応じて設計変更を行うこと。</p> <p>c 「付属資料-2 1. 防寒開始日早見表」により当初設計において防寒費を計上しない場合で、妥当な工程により施工し実際に防寒が必要となった場合は、設計変更により防寒費を計上することができる。</p> <p>d 企業努力により施工時期が短縮され防寒養生・防寒囲いを施工しなかった場合は、設計変更の対象としない。</p> <p>e 請負人の責に帰する事由により施工時期の遅延が生じたことにより、防寒養生・防寒囲いが必要となった場合は、その超過部分についての防寒費用は、設計変更の対象とならない。</p> <p>なお、この項目を適用する場合は、設計図書に「条件明示」すること。（この特記の記載のないものについては本項は適用されない）</p>	<p>コンクリート 防 寒 費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日入札から対象となる。 ・コンクリート打設時の防寒囲い、防寒養生を対象とする。 ・地域ごとに気温が異なるため工期、気象データ等により必要に応じ計上する。 ・積算は下記「4-2 コンクリート防寒費の積算について」による。 	<p>(6節 冬期施工から移行)</p>	<p>6節冬期施工から統合</p>
<p>コンクリート 防 寒 費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日入札から対象となる。 ・コンクリート打設時の防寒囲い、防寒養生を対象とする。 ・地域ごとに気温が異なるため工期、気象データ等により必要に応じ計上する。 ・積算は下記「4-2 コンクリート防寒費の積算について」による。 				

掲載頁	新	旧	摘要									
3-6-8	<p>4-3 雪寒仮囲い 4-3-1 適用基準 (1) 本資料は、冬期における土木建造物の施工において、平均設置高3.0m以下の「雪寒仮囲い」を設置する工事に適用する。 (2) 小型建造物（コンクリート体積が40m³未満の無筋・鉄筋建造物）については、「4-5 小型建造物防寒工」を適用すること。 (3) 防寒囲いをコンクリート打設用立体足場と兼用する場合は、仮囲い費にて計上できる。 (4) 枠組足場幅は、1.2mを標準とする。 (5) 囲い高の算定に当たっての余裕高は、1.8mを標準として算出する。 (6) 囲い屋根部の勾配は、1.0%を標準とする。ただし、囲い幅が広い場合は、その限りではない。</p> <p>4-3-2 施工概要 標準施工フローは、下記のとおりとする。</p> <p>防寒囲い材料搬入 → 設置 → 本工事 → 撤去 → 防寒囲い材料搬出</p> <p>注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>4-3-3 仮囲いタイプ及び機種の選定 (1) 仮囲いタイプの選定 仮囲いタイプの選定は、次図による。</p>  <table border="1" data-bbox="332 1642 1347 1768"> <thead> <tr> <th></th> <th>囲い部材</th> <th>屋根梁・屋根受け梁部等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Pタイプ</td> <td>パイプサポート+シート</td> <td>単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等</td> </tr> <tr> <td>Wタイプ</td> <td>枠組足場+シート</td> <td>単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等</td> </tr> </tbody> </table>		囲い部材	屋根梁・屋根受け梁部等	Pタイプ	パイプサポート+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等	Wタイプ	枠組足場+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等	(7節 冬期施工から移行)	
	囲い部材	屋根梁・屋根受け梁部等										
Pタイプ	パイプサポート+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等										
Wタイプ	枠組足場+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等										

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準（令和4年10月） 新旧対照表（令和5年3月1日以降積算基準日適用）

掲載頁	新	旧	摘要																																																													
3 - 6 - 9	<p>(2) 機種の選定 仮設材の持上げ（下げ）機械は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="335 401 1433 548"> <thead> <tr> <th></th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Pタイプ</td> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制) 山積/平積 0.8/0.6m³ 吊能力2.9t</td> </tr> <tr> <td>Wタイプ</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 2.5t吊・排出ガス対策型(2011年規制)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) バックホウ(クローラ型)、ラフテレーンクレーンは賃料とする。</p> <p>4-3-4 設置・撤去歩掛</p> <p>(1) Pタイプの設置・撤去歩掛 Pタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="1086 684 1412 747"> <tr> <td>施工単価コード</td> <td>J20320</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(100㎡当たり)</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="335 747 1433 953"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>4.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)運転</td> <td>日</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1 諸雑費は、仮囲い仮設材等の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2 仮囲いの面積算出にあたっては、「4-6 雪寒仮囲い費数量算出基準」を参照のこと。</p> <p>(2) Wタイプの設置・撤去歩掛 Wタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表とする。</p> <table border="1" data-bbox="1086 1094 1412 1157"> <tr> <td>施工単価コード</td> <td>J20322</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(100㎡当たり)</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="335 1157 1433 1402"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>枠組足場部 (S₁)</th> <th>枠組足場以外 (S₂)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>2.2</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td>人</td> <td>9.6</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>6.7</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>2.6</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1 仮囲い用の足場幅は、1.2mを標準とする。 2 諸雑費は、仮囲い仮設材等の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。 3 「枠組足場部」は、構造物天端の高さまでであり、「枠組足場以外」は、構造物天端以上の屋根部分とする。（「4-3-5 防寒囲い費数量算出基準」を参照） 4 上記歩掛は、コンクリート打設用足場を兼用とした仮囲いの設置・撤去歩掛であり、兼用できない場合の足場は別途必要量を計上する。 6 風雪などによる防寒囲いの補強が必要とする場合は、積み上げとすること。</p>		機 械 名	規 格	Pタイプ	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制) 山積/平積 0.8/0.6m ³ 吊能力2.9t	Wタイプ	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 2.5t吊・排出ガス対策型(2011年規制)	施工単価コード	J20320		(100㎡当たり)	名 称	単 位	数 量	摘 要	世 話 役	人	1.1		普 通 作 業 員	人	4.7		バックホウ(クローラ型)運転	日	0.6		諸 雑 費 率	%	2.2		施工単価コード	J20322		(100㎡当たり)	名 称	単 位	枠組足場部 (S ₁)	枠組足場以外 (S ₂)	世 話 役	人	2.2	1.1	と び 工	人	9.6	4.5	普 通 作 業 員	人	6.7	2.5	ラフテレーンクレーン	日	0.2	0.2	諸 雑 費 率	%	2.6	1.4	(7節 冬期施工から移行)	
	機 械 名	規 格																																																														
Pタイプ	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制) 山積/平積 0.8/0.6m ³ 吊能力2.9t																																																														
Wタイプ	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 2.5t吊・排出ガス対策型(2011年規制)																																																														
施工単価コード	J20320																																																															
	(100㎡当たり)																																																															
名 称	単 位	数 量	摘 要																																																													
世 話 役	人	1.1																																																														
普 通 作 業 員	人	4.7																																																														
バックホウ(クローラ型)運転	日	0.6																																																														
諸 雑 費 率	%	2.2																																																														
施工単価コード	J20322																																																															
	(100㎡当たり)																																																															
名 称	単 位	枠組足場部 (S ₁)	枠組足場以外 (S ₂)																																																													
世 話 役	人	2.2	1.1																																																													
と び 工	人	9.6	4.5																																																													
普 通 作 業 員	人	6.7	2.5																																																													
ラフテレーンクレーン	日	0.2	0.2																																																													
諸 雑 費 率	%	2.6	1.4																																																													

掲載頁	新	旧	摘要
3 - 6 - 11	<p>4-3-5-2 Wタイプ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $S_1 = \{2 \times (b + 0.5 \times 8 + 1.2 \times 4)\} \times h \quad (\text{m}^2)$ $S_2 = L \times (H_1 + H_2 + B_2 - h \times 2) + B_1 \times (H_1 + H_2 - h \times 2) + B_2 \times L \times (\text{打設回数} - 1) \quad (\text{m}^2)$ </div> <p> S_1 : 枠組足場面積 (m²) B_2 : 囲いの屋根の幅 (m) S_2 : 枠組足場以外の面積 (m²) $B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$ b : 対象構造物の幅 (m) L : 囲いの長さ (m) : 対象構造物の長さ (m) $L = 0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$ h : 対象構造物の高さ (m) H_1 : 囲いの低い方の側面の高さ (m) h' : 余裕高 (m) (3-1-(5)による) $H_1 = h + h' - (B_1 \div 2) \times 0.1$ B_1 : 囲いの底面の幅 (m) H_2 : 囲いの高い方の側面の高さ (m) $B_1 = b + 0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$ $H_2 = h + h' + (B_1 \div 2) \times 0.1$ </p> <p>※計算式内の については、現場条件によっては算定しない</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>(断面図)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(平面図)</p> </div> </div>	<p>(7節 冬期施工から移行)</p>	

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準（令和4年10月） 新旧対照表（令和5年3月1日以降積算基準日適用）

掲載頁	新	旧	摘要																																		
3 - 6 - 12	<p>4-4 防寒養生</p> <p>4-4-1 適用基準</p> <p>(1) 本資料は、仮囲い内での防寒養生に適用する。</p> <p>(2) 防寒養生費を計上する場合は、一般養生費を計上しないこと。</p> <p>(3) ジェットヒータによるコンクリート養生を標準とする。</p> <p>(4) 小型構造物（コンクリート体積が40m³未満の無筋・鉄筋構造物）については、「4-5 小型構造物防寒工」を適用すること。</p> <p>注) (2)に係るコンクリート防寒養生費の取り扱い 代価表（歩掛）に特別の定めがある場合を除き、コンクリート打設で防寒養生を計上する場合は、一般養生分として1.0m³当り 普通作業員×0.01 の費用を控除する。</p> <p>4-4-2 防寒養生歩掛</p> <p>(1) 機種の選定 機種、規格は、次表を標準とする。</p> <p>表2.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="335 785 1234 909"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジェットヒータ</td> <td>1.26MJ/h (30,100kcal)</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施工歩掛 ア 防寒養生費（仮囲い内ジェットヒータ養生） 仮囲い内でのジェットヒータによる防寒養生歩掛は、次表とする。</p> <p>表2.2 防寒養生歩掛（ジェットヒータ養生） (1.0m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="335 1083 1433 1333"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.15</td> <td>0.14</td> </tr> <tr> <td>業務用可搬型「ジェットヒータ」運転</td> <td>油だき・熱風・直火型 吐出力1.26MJ/h (30,100kcal/ 油種 灯油</td> <td>日</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>発動発電機運転</td> <td>ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA</td> <td>日</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1 ジェットヒータは賃料とする。 2 養生のための囲い、足場は、別途計上する。 3 防寒養生の労務費・諸雑費は、防寒囲い設置・撤去歩掛に含まれている。 4 積算対象数量は、コンクリート体積とする。ただし、ブロック積（張）については、（面積）×（厚さ）とする。</p> <p>(3) 運転時間 ジェットヒータによる防寒養生に要する施工機械運転日当たり運転時間は、次表とする。</p> <p>表2.3 施工機械運転日当たり運転時間 (h/日)</p> <table border="1" data-bbox="335 1570 1433 1703"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジェットヒータ運転 および 発動発電機運転</td> <td>18.5</td> <td>15.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1 ジェットヒータの運転時間当たり燃料消費量は、灯油3.6/hとする。</p>	機種	規格	ジェットヒータ	1.26MJ/h (30,100kcal)	発動発電機	ディーゼルエンジン駆動定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA	名称	規格	単位	数量		無筋構造物	鉄筋構造物	普通作業員		人	0.15	0.14	業務用可搬型「ジェットヒータ」運転	油だき・熱風・直火型 吐出力1.26MJ/h (30,100kcal/ 油種 灯油	日	1.6	1.8	発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA	日	1.6	1.8	名称	無筋構造物	鉄筋構造物	ジェットヒータ運転 および 発動発電機運転	18.5	15.2	(7節 冬期施工から移行)	
機種	規格																																				
ジェットヒータ	1.26MJ/h (30,100kcal)																																				
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA																																				
名称	規格	単位	数量																																		
			無筋構造物	鉄筋構造物																																	
普通作業員		人	0.15	0.14																																	
業務用可搬型「ジェットヒータ」運転	油だき・熱風・直火型 吐出力1.26MJ/h (30,100kcal/ 油種 灯油	日	1.6	1.8																																	
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA	日	1.6	1.8																																	
名称	無筋構造物	鉄筋構造物																																			
ジェットヒータ運転 および 発動発電機運転	18.5	15.2																																			

掲載頁	新	旧	摘要																																																																																				
3 - 6 - 13	<p>(4) 機械運転単価表 (1日当たり)</p> <table border="1" data-bbox="290 380 1448 667"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">ジェットヒータ 126MJ/h(30,100Kcal)</th> <th colspan="3">発動発電機 タイパエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>無筋 構造物</th> <th>鉄筋 構造物</th> <th>フロック 積(張)</th> <th>無筋 構造物</th> <th>鉄筋 構造物</th> <th>フロック 積(張)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>灯油</td> <td></td> <td>66.6</td> <td>54.72</td> <td>72.36</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表2.3(注)</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.73</td> <td>8.816</td> <td>11.66</td> <td>時間当り燃料消費率×運転時間</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>供用日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.176</td> <td>1.176</td> <td>1.176</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃料</td> <td>供用日</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4-5 小型構造物防寒 4-5-1 適用基準 (1) 本資料は、小型構造物（コンクリート体積が40m3未満の無筋・鉄筋構造物）に適用する。 (2) 「4-3 雪寒仮囲い」を適用した場合は、本歩掛は適用できない。 (3) ジェットヒータによるコンクリート養生を標準とする。</p> <p>4-5-2 小型構造物防寒養生（ジェットヒータ養生） (1) 機種を選定 機種、規格は、表2.1 機種を選定を標準とする。</p> <p>(2) 施工歩掛 仮囲い内でのジェットヒータによる小型構造物防寒養生歩掛は、次表とする 表2.4 小型構造物防寒養生歩掛（ジェットヒータ養生） (1.0m3当たり)</p> <table border="1" data-bbox="335 1087 1433 1213"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジェットヒータ 運 転</td> <td>h</td> <td>1.57</td> </tr> <tr> <td>発動発電機運 転</td> <td>h</td> <td>1.57</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1 ジェットヒータは賃料とする。 2 積算対象数量は、コンクリート体積とする。 3 無筋・鉄筋構造物のコンクリート体積が4.0m3未満の場合に適用する。</p> <p>(3) 運転時間 ジェットヒータによる小型構造物防寒養生に要する施工機械運転日当たり運転時間は、次表とする。 表2.5 小型構造物防寒養生に要する施工機械運転日当り運転時間（ジェットヒータ養生） (h/日)</p> <table border="1" data-bbox="335 1402 1433 1493"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジェットヒータ運 転 発動発電機</td> <td>2.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1 ジェットヒータの運転時間当り燃料消費量は、灯油3.6/hとする。</p> <p>(4) 機械運転単価表 (1h当たり)</p> <p>ジェットヒータ運転1時間当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="335 1633 1433 1864"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>ジェットヒータ 126MJ/h(30,100Kcal)</th> <th>発動発電機 タイパエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>灯油</td> <td>3.6</td> <td></td> <td>表2.4(注)</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td></td> <td>0.58</td> <td>時間当り燃料消費率 ×機関出力</td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>日</td> <td>0.06</td> <td>1.20/表2.5</td> </tr> <tr> <td>賃料</td> <td>日</td> <td>0.06</td> <td>1.20/表2.5</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ジェットヒータ 126MJ/h(30,100Kcal)			発動発電機 タイパエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA			摘要	無筋 構造物	鉄筋 構造物	フロック 積(張)	無筋 構造物	鉄筋 構造物	フロック 積(張)	灯油		66.6	54.72	72.36				表2.3(注)	軽油					10.73	8.816	11.66	時間当り燃料消費率×運転時間	損料	供用日	-	-	-	1.176	1.176	1.176		賃料	供用日	1.20	1.20	1.20	-	-	-		名称	単位	小型構造物	ジェットヒータ 運 転	h	1.57	発動発電機運 転	h	1.57	名称	小型構造物	ジェットヒータ運 転 発動発電機	2.01	名称	ジェットヒータ 126MJ/h(30,100Kcal)	発動発電機 タイパエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA	摘要	灯油	3.6		表2.4(注)	軽油		0.58	時間当り燃料消費率 ×機関出力	損料	日	0.06	1.20/表2.5	賃料	日	0.06	1.20/表2.5	(7節 冬期施工から移行)	
名称	単位			ジェットヒータ 126MJ/h(30,100Kcal)			発動発電機 タイパエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA				摘要																																																																												
		無筋 構造物	鉄筋 構造物	フロック 積(張)	無筋 構造物	鉄筋 構造物	フロック 積(張)																																																																																
灯油		66.6	54.72	72.36				表2.3(注)																																																																															
軽油					10.73	8.816	11.66	時間当り燃料消費率×運転時間																																																																															
損料	供用日	-	-	-	1.176	1.176	1.176																																																																																
賃料	供用日	1.20	1.20	1.20	-	-	-																																																																																
名称	単位	小型構造物																																																																																					
ジェットヒータ 運 転	h	1.57																																																																																					
発動発電機運 転	h	1.57																																																																																					
名称	小型構造物																																																																																						
ジェットヒータ運 転 発動発電機	2.01																																																																																						
名称	ジェットヒータ 126MJ/h(30,100Kcal)	発動発電機 タイパエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA	摘要																																																																																				
灯油	3.6		表2.4(注)																																																																																				
軽油		0.58	時間当り燃料消費率 ×機関出力																																																																																				
損料	日	0.06	1.20/表2.5																																																																																				
賃料	日	0.06	1.20/表2.5																																																																																				